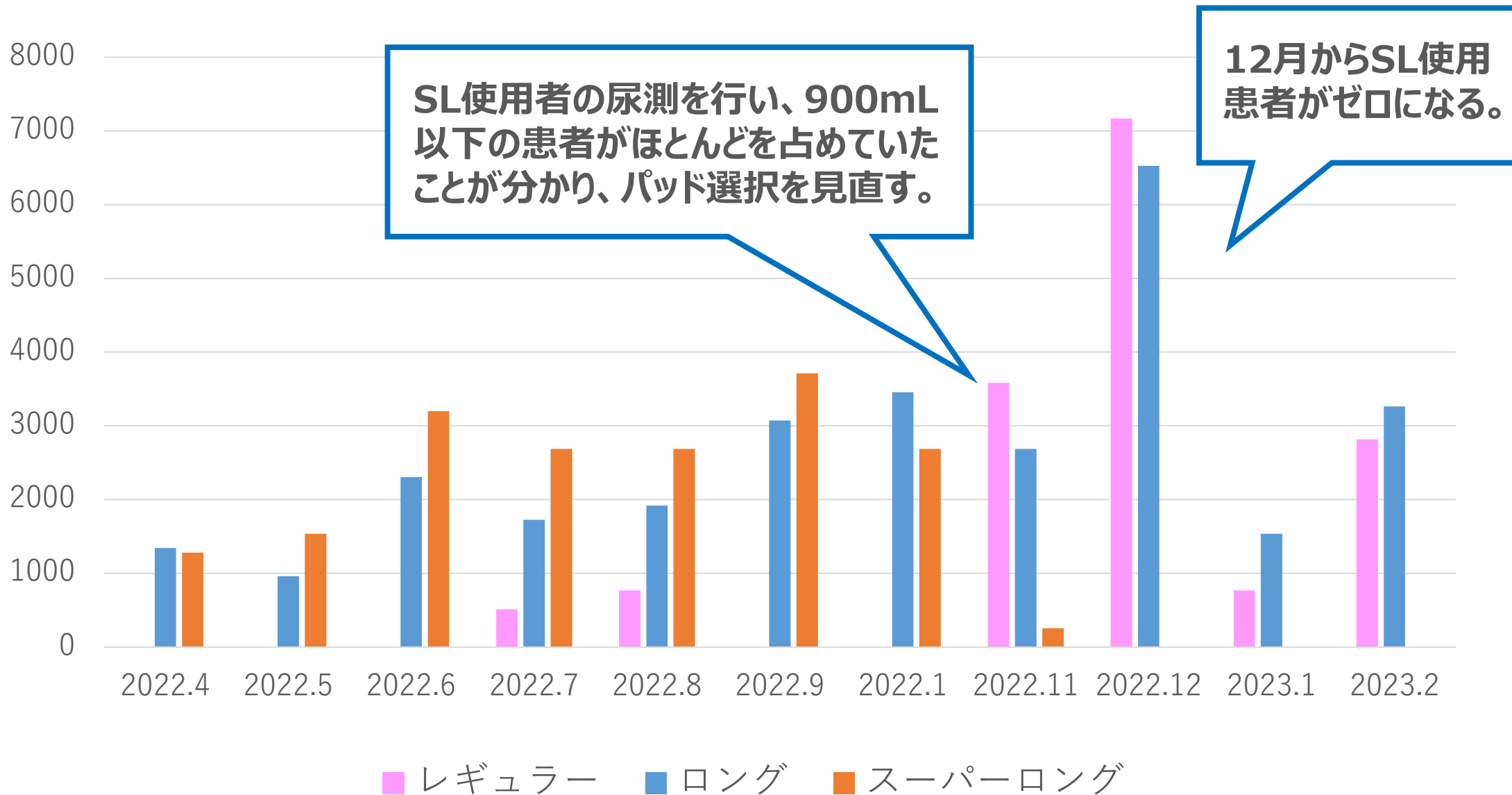


メンタルホスピタルかまくら山様 マイスター1期生取り組み報告

光洋 ケアコンシェルジュ

小賀坂 理恵

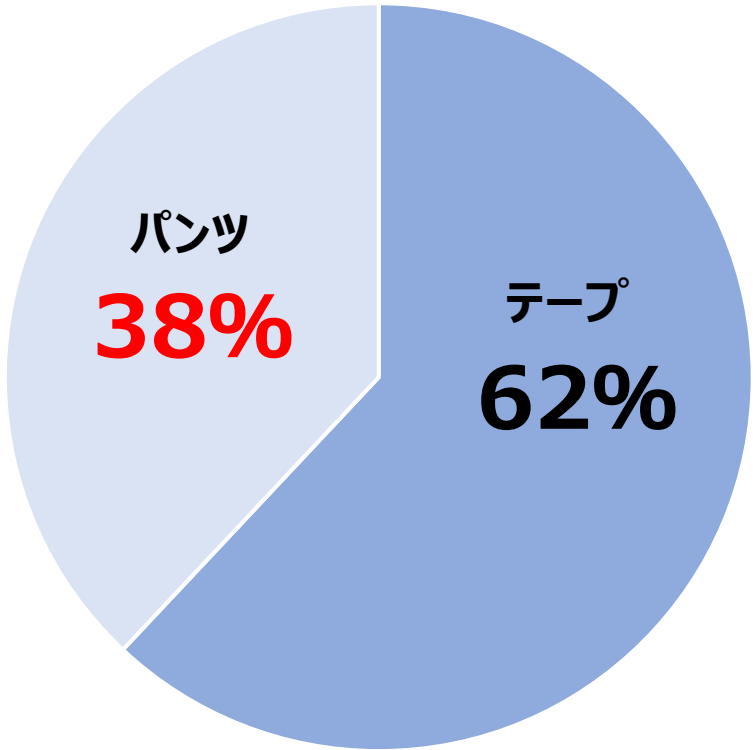
パッドの使用状況の変化



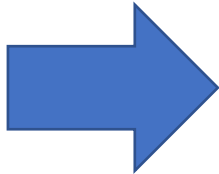
※R・Lの在庫がなかった為、12月のみ過剰注文

テープ・パンツ比率

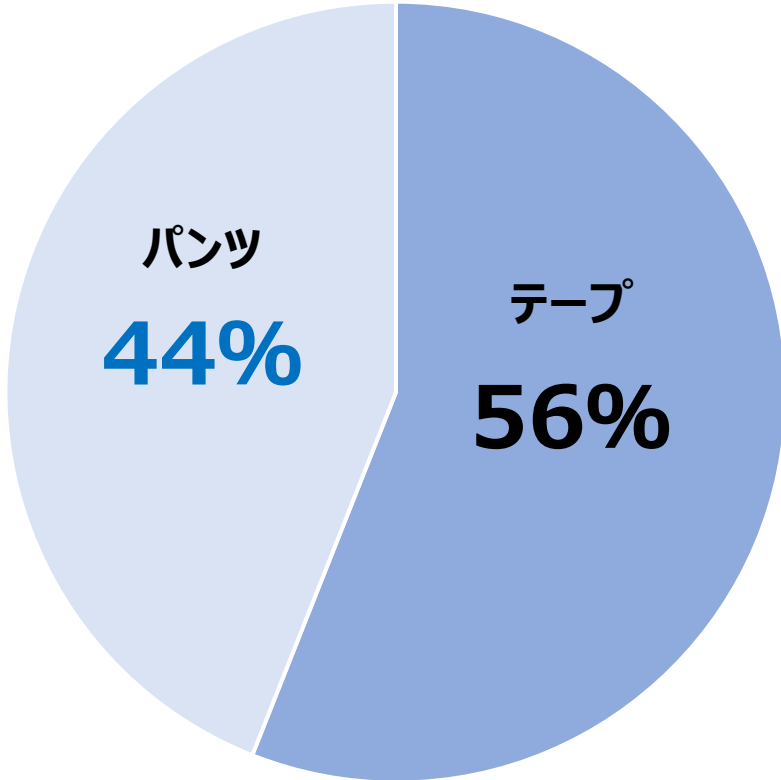
取り組み前



■テープ ■パンツ



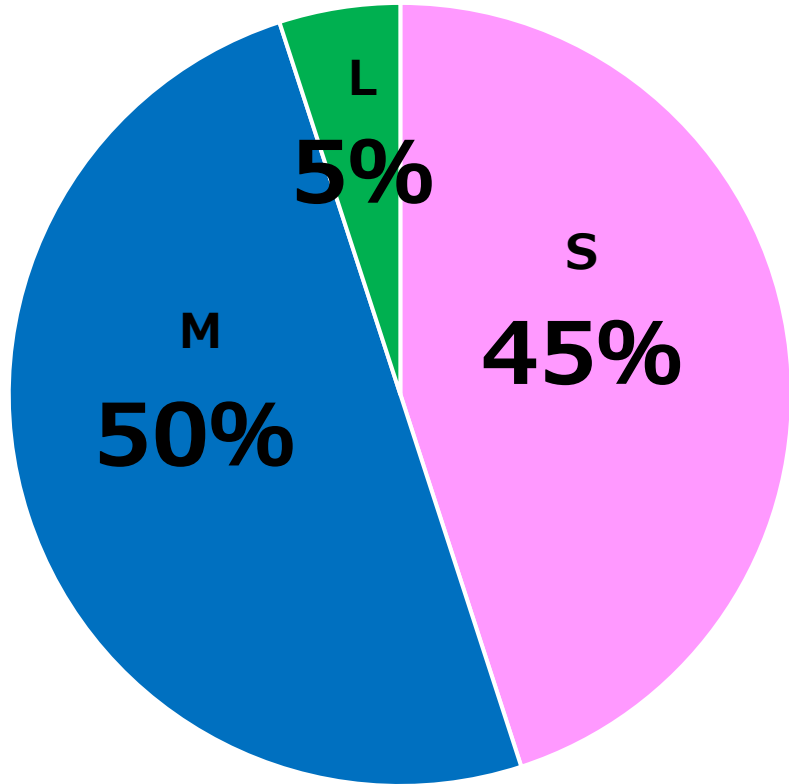
取り組み後



■テープ ■パンツ

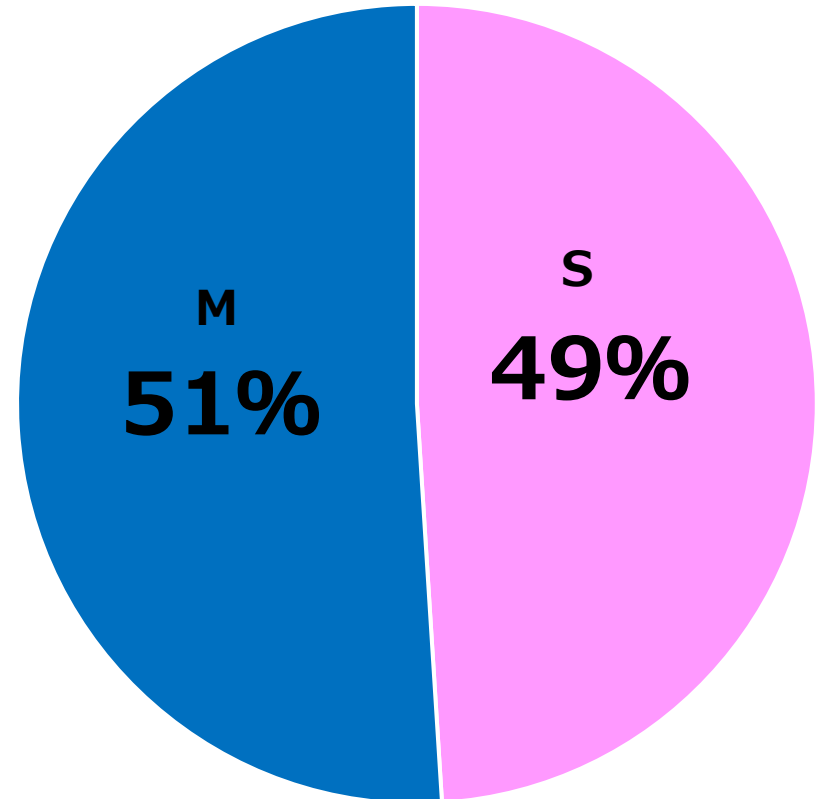
アウターサイズ比率(テープ)

取り組み前



■ S ■ M ■ L

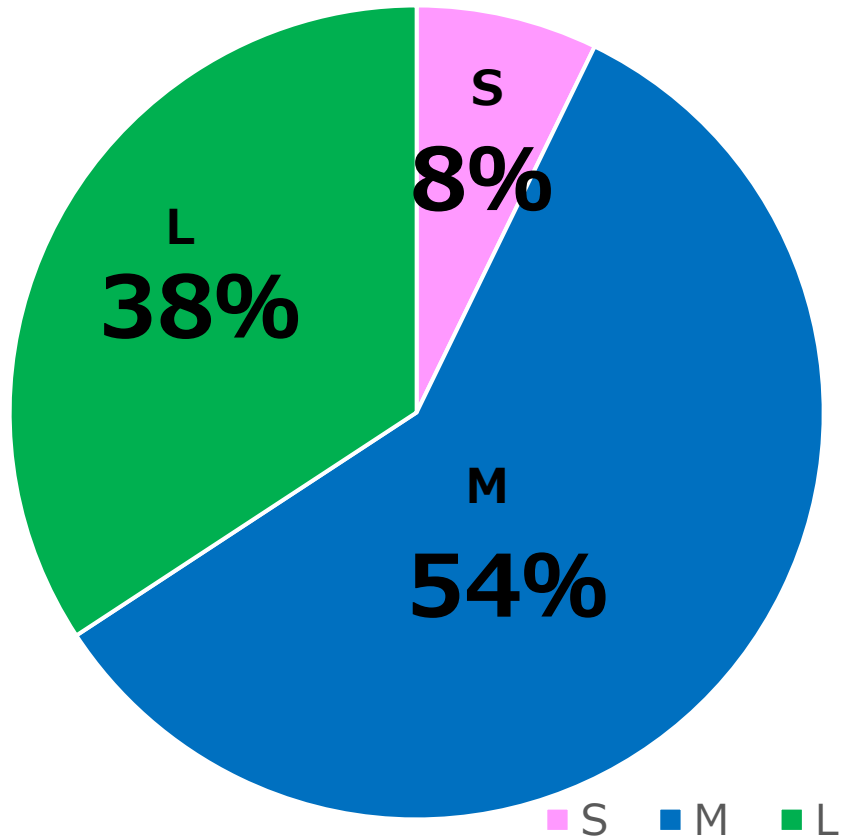
取り組み後



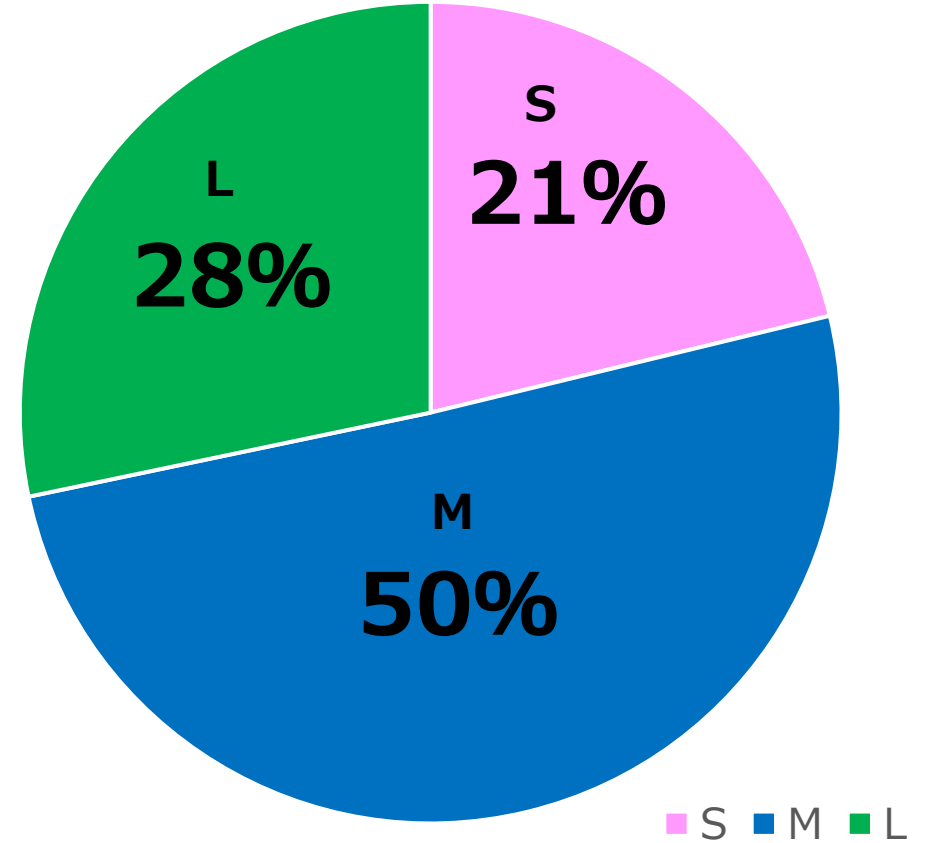
■ S ■ M

アウターサイズ比率(パンツ)

取り組み前



取り組み後



成功のカギ

- 尿測を習慣化させ、パッド選択の裏付けができたこと
- あて方をマイスターが指導できたこと
- あて方手技が向上したことでアウターサイズが適正になったこと
- マイスターがおむつ使用状況(KPI)を分析し、課題の抽出や一般職員への報告ができるようになったこと
- マイスターの取り組みを院内で周知されていて協力体制が整っていたこと

今後の課題

- 終日パンツ対応できる介護力の習得
- スーパーロング削減によって、その他のパッドの使用量が増加しないように経過を追う
- 困難事例に対するあて方応用力の習得
- 看護と連携した褥瘡ケア

一般職員スキルチェック(おむつ交換技術)の変化

	チェック項目	取り組み前平均		取り組み後平均
1	必要な物品の準備ができている	2.3		3.0
2	患者様に声かけをしている	2.7		3.0
3	ベッドの高さの調節を行っている	2.3		2.8
4	正しい陰部洗浄が行える	2.2		2.6
5	おむつとパッドのサイズ選定ができ、正しく扱える	2.2		3.0
6	対面側臥位になっていただいている	2.0		2.6
7	正しい体の位置におむつを合わせている	2.1		2.8
8	ギャザーを足の付け根にあてている	2.3		2.8
9	テープを正しく止めている	2.2		2.8
10	しわやすき間なくおむつをあてている	3.0		2.1
11	清潔不潔の区別ができている	2.6		3.0
12	環境整備を行っている	2.2		3.0

(評価基準：良い・できている = 3 普通・ややできている = 2 悪い・できてない = 1)

一般職員スキルチェック(応用・アセスメント)の変化

	チェック項目	取り組み前平均		取り組み後平均
1	アセスメントをしながら排泄ケアを行っている	1.8		2.7
2	もれが生じたときは原因をしっかりと見極める	1.8		2.2
3	もれが生じたときは尿測を行うようにしている	1.6		1.7
4	パッドの重ね使いなどでもれを防止することはない	1.7		2.2
5	状態の変化に応じたおむつやパッドを変えている	2.2		2.8
6	安全安楽なポジショニングを行えている	2.3		2.7
7	状態の変化に応じたポジショニングを変えている	2.0		2.8
8	皮膚状態に応じたスキンケアを行っている	2.0		2.4
9	皮膚状態は毎回おむつ交換時観察している	2.3		2.5
10	状態の変化に応じスキンケア用品を変えている	1.8		2.4

(評価基準：良い・できている = 3 普通・ややできている = 2 悪い・できてない = 1)

スキルチェック一般職員 意見(実施前)

《おむつ交換技術》

- 普段はきちんとできているつもりでいるが、一つ一つ考えてみるとできていないことが分かった

《応用・アセスメント》

- 状況に応じてアセスメントしてきちんとできていないことが分かった

マイスター研修実施前は、スキルチェック表の備考欄への
記入も少なく、排泄ケアへの関心も薄かった

スキルチェック一般職員 意見(実施後)

《おむつ交換技術》

- 痩せていたり、隙間なくおむつをあてるのが難しい患者がいるため、最善のあて方をもっと知りたいと思った
- サイズの選定の**重要性が理解できた**
- 対面で行う**必要性が理解できた**
- おむつのあて方の**根拠が理解できた**
- ギャザーの重要性やしわ、隙間なくすといったことが再認識できた
- 勉強会がとても分かりやすかった
- 改めておむつ交換の手技、手順を理解できたため病棟で活かした
- 実技だけでなく、マイスターの講義も聞いてみたい
- (マイスター主催の勉強会は)緊張が感じられたが、重要な部分や皆に伝えなければならないとする部分は感じる事ができた。**定期的に少人数でもいいので勉強会を開催してほしい**
- とてもわかりやすく実践に繋げることができた

《応用・アセスメント》

- おむつの使用方法、準備、あて方など使用に関する理解が深まり、一つ一つの動作に意味があると再認識できた
- もれが起きたときの原因をしっかりと**分析する必要性が理解できた**
- おむつの適正サイズやパッド選びがとても勉強になった
- これまでおむつ、パンツの選択を曖昧に行っていたことが認識できた
- 体型に合わせたあて方の**ポイントが学べた**
- 実務でもどんどん教えてもらって学びたい

マイスター主体の勉強会実施後のアンケートには、おむつ交換に対する疑問や今後もっと学びたい内容などがたくさん書かれており、一般職員が排泄ケアに関心を持っていることがわかった。



スキンケア研修

陰部洗浄のデモンストレーション

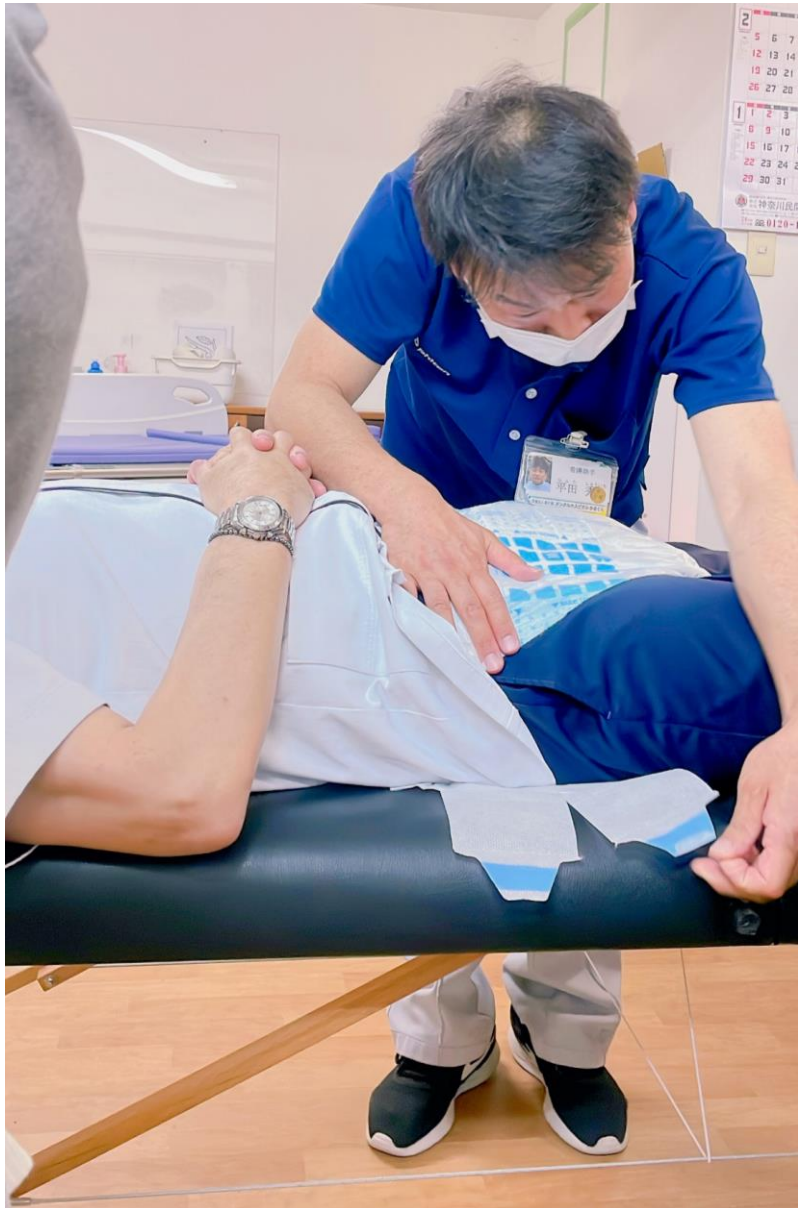




座学研修

- 排泄のメカニズム
- スキンケア
- 認知症
- 自立排泄ケア
- ポジショニング

全ての研修を受けました。



**マイスター2名が主体となって、
院内あて方研修を実施しました。**





認定証
Keyo Master
医療法人協会のメンタルホスピタルを主催
平田 秀一 様
貴方は株式会社光洋が定める
光洋マイスター認定研修を
すべて終了したことを証明いたします。
令和5年 4月 4日
株式会社 光洋
代表取締役社長 高木孝典

KEYO Master
認定証
医療法人協会のメンタルホスピタルを主催
佐藤 友里恵 様
貴方は株式会社光洋が定める
光洋マイスター認定研修を
すべて終了したことを証明いたします。
令和5年 4月 4日
株式会社 光洋
代表取締役社長 高木孝典

認定証
Keyo Master
医療法人協会のメンタルホスピタルを主催
佐藤 友里恵 様
貴方は株式会社光洋が定める
光洋マイスター認定研修を
すべて終了したことを証明いたします。
令和5年 4月 4日
株式会社 光洋
代表取締役社長 高木孝典

メンタルホスピタルかまくら山

光洋マイスター1期生

平田秀一さん

佐藤友里恵さん

(認定日：令和5年4月4日)